

声

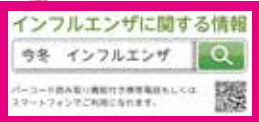
KOEI CONNECTION

興栄通信 No.83 MARCH 2018

みんなて予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

季節性のインフルエンザは、例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎えます。厚生労働省によると平成30年2月12日から2月18日までの第7週の患者報告数223,928から146,774となり、前週より45.38減少した。国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近の5週間(2018年第3～第7週)ではB型が最も多く、次いでAH3型、AH1pdm09型の順だったようです。しかし、2009年は新型インフルエンザウイルスの出現によって、5月から感染者が確認されはじめ、夏以降、感染者が爆発的に増加した例もあるので油断は禁物です。



インフルエンザウイルスはどうやって感染するの？

インフルエンザウイルスは、呼吸とともに体内に侵入し、のどや気管支、肺で急激に増殖していきます！
主に、インフルエンザに感染した患者さんの咳(せき)やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染します。これを飛沫(ひまつ)感染といいます。ウイルスは、呼吸とともに鼻やのどから体内に入り込み、気道の粘膜に吸着して細胞内に侵入します。感染したウイルスは、のどや気管支、さらには肺で急激に増殖していきます。感染2日後にはウイルスの増殖はピークに達し、その後減少します。

感染防止「咳エチケット」

厚生労働省は、他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」をキーワードとした普及啓発活動を行い、マスクの着用や人混みにおいて咳をする際の注意点について啓発ポスターなどを使って呼びかけています。

- 咳やくしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。



声 お客様からの募集! 応募先メールアドレス hamaoka@koei-j.co.jp CS担当: 濱岡

厚生労働省 咳エチケット 啓発ツール ポスター



いつも興栄通信をご覧いただき、誠に有難うございます。弊社では、サービス向上のためお客様の「声」を募集致します。お客様の「声」は、私たちの活力になります。ご意見、ご感想、ご提案など何でも構いませんので是非「声」をお聞かせ下さい。尚、頂いた「声」は今後記事として掲載させて頂く場合もございますのでご了承下さい。個人情報等はこちらからのご連絡以外に使用致しませんのでご安心下さい。